

〔様式1〕 平成19年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成19年3月28日		記入者		連絡先 5672
平成18年度部名	保健所		課名	中央保健センター	課長名 鈴木豊子
平成19年度部名	保健所		課名	中央保健センターを含む3センター	課長名 鈴木・岩元・栗原
事務事業名	健康増進事業				
予算上の事務事業名	健康増進事業				
1 総合計画における位置づけ			施策コード	12210	
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政策名	第2章 生涯にわたる健康づくりを進めます				
基本施策名	第2節 市民健康づくりの推進				
施策名	第1施策 自ら行う健康づくり				
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等					
老人保健法 健康増進法 相模原保健所及び保健センター条例 相模原市健康増進事業実施要綱					
3 個別計画の概要			概要		
計画名	相模原市保健医療計画		中高年の生活習慣病や身体活動の維持に着目し、身体活動の実践等を中心とした健康増進事業を健康教育の一環として実施するもの		
計画年次	14	年度～	22	年度	
4 事業形態の区分	研修・講座		5 事業開始年度	平成12年度	
6 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)			(2) 対象(誰、何)		
市民一人ひとりが、安全かつ効果的な運動を自らの生活に取り入れ、健康的なライフスタイルを構築し、生活習慣病予防や身体活動の維持を図ることを目指す。そのために必要な知識の習得と具体的な運動・休養体験を通して、運動の基本を身につけると共に運動習慣の定着を図る。			市内在住・在勤、30歳以上(一部の講座は60歳以上)の方で生活習慣改善に運動が必要な人		
(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
委託で健康運動指導士等を配置し事業実施を図る。 ・運動プログラム作成コース：年間48回。月平均4回(平日2・夜間1・休日1)ウェルネスさがみはら会場で開催。問診・健康診断・体力測定の結果から、個別に運動プログラムを作成。 ・運動習慣定着コース：年間を通じ2会場で延305回開催。1コース10日間で、作成した運動プログラムを元に運動機器等を利用して個人に即した運動指導を受ける。 ・運動体験教室：年間を通じ2会場で延36コース開催。1コース2日間で、ダンベル・チューブ・ボクササイズ・ソフトエアロピクス・踏み台エアロピクスの5種目を体験。 ・高齢者健康増進教室：年間を通じ2会場で延18コース開催。1コース4日間で、集団教育を中心に高齢期の健康づくりや寝たきり予防に役立つ運動・休養等を体験しながら学習。					
7 関連事業・類似事業又は他市の状況					
横須賀市：プール・トレーニングジム・教室エリア等を備え厚生労働大臣認定健康増進施設(運動型)として、対象・回数等の制限もなく有料で規模も内容も拡大して実施している。 横浜市：総合保健医療センター 健康教育部門、横浜市スポーツ医科学センター運動部門等が厚生労働大臣認定健康増進施設として実施している。					
8 事業費の推移 〔単位：千円〕					
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業費	11,575	16,571	14,145	10,916	10,916
一般財源	6,043	12,045	11,533	9,788	9,788
受益者負担金	342	330	310	300	300
その他の特定財源	5,190	4,196	2,302	828	828
人件費の合計	2,598	2,583	2,425	2,425	2,425
事業コスト合計	14,173	19,154	16,570	13,341	13,341
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (主たる事業名)	健康増進事業			対象名称 と単位	参加者数(人)
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業コスト(主たる事業)	14,173	19,154	16,905	13,341	13,341
対 象 数	4,739	6,264	6,113	6,070	6,090
単位あたり経費(円)	2,991	3,058	2,765	2,198	2,191
前 年 度 比		1.02	0.90	0.79	1.00
10 活動指標・・・実施した内容(活動)を数値化したもの					

指標名と単位	新規参加者数(人)	指標式と指標の説明	新規参加者数 / 参加計画者数		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	1163.0	1273.0	1342.0		
目標	2221.0	2218.0	2193.0	1997.0	1997.0
目標達成度(%)	52.4	57.4	61.2		
1 1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	運動習慣定着率	指標式と指標の説明	アンケート調査 週2回以上運動習慣のある人 / サンプル数 (目標: 保健医療計画による目標値)		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	21.2%	21.2%	29.7%		
目標	31.0%	31.0%	31.0%	31.0%	31.0%
目標達成度(%)	68.4	68.4	95.8		
1 2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A: 妥当である・B: 妥当性に課題がある・C: 妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必要性が高い事業である。			
	<input type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A: 有効である・B: 有効性を高める余地がある・C: 有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A: 効率が良い・B: 効率性を高める余地がある・C: 効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性 [有・無]					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1 3 総合評価(一次評価)					
(1) 自動判定結果					
	[] : 良好な状態を維持する事業				
	[] : 概ね良好な状況である事業				
	[] : 見直しを行う必要がある事業				
	[] : 抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課長による評価(今後の方向性)			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	・拡充・充実		H20年度医療制度改革に向け、生活習慣病予防(特にメタボリックシンドローム)に積極的に取り組む方向性が示された。予防策の中心に「運動」を位置付けている。個人にあった安全で効果的な運動を体験し定着を図る本事業は、今後ますます需要が高まると推察され、より効果的な運用を検討する。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1 4 成果向上及び効率性を高めるための方策			1 5 課題として認識されたこと		
殆どの参加者に、何らかの効果があり運動定着率も、市の計画率として設定している31%にほぼ近い状況になっている。疾病予防に効果的な年代(30~50歳台)の参加者増を図る事が必要。しかし、この年代は多忙な時期でもあり、医療機関・保険者・職域等より積極的な周知方法を検討していく。			参加者の事業満足度は高く、リピーターが増え、また高齢者割合も増加している。元気高齢者の身体機能の維持・増進も目標の一つではあるが、より生活習慣病予防を強化するには、事業内容・対象者等今後精査し方向付けしていくが必要である。また、運動習慣継続のためには、地域環境づくりへの働きかけ強化も今後の課題である。		
1 6 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価(今後の方向性)			(2) 二次評価コメント		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	・拡充・充実		事業所管課長による評価のとおり、対象者を拡大する方向で普及・啓発を図り、事業の実施を進める。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			